

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

プレコングレスワークショップ5	
企画名	DNRを再考する
日時	2016年6月10日(金) 13:30～15:00
会場	第12会場 (台東区民会館 9階 ホール(1))
企画責任者	江原淳 (東京ベイ浦安市川医療センター)
定員	30名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】</p> <p>本セッションでは、受講者にコードステータスに関してこれまでに知られている知識を整理し、DNRオーダーの真の意味について改めて考え、理解してもらうことを目的としている。</p> <p>グループワークでは施設のコードステータスに関する悩みやジレンマを共有し、コードステータスに関する質問をできるだけストレスなく行えるようになることを目指している。</p>	
<p>【概要】</p> <p>アドバンスケアプランニングは患者の価値感などを充分理解し治療のゴール設定や、許容できる苦痛や負担を話し合う過程をさす。その中で心肺停止時の患者の希望をコードステータスといい、DNR、Full codeがある。「DNRの患者に輸血をするのですか?」「DNRの患者をICU入室させるのですか?」「DNRの患者の血糖を一日4回も測定するのですか?」などの議論をしばしば経験する。DNRを希望する患者が、予期せぬ心室細動になったとき電氣的除細動を行うべきかどうか迷ったことはないだろうか?ここではDNRの真の意味、心肺停止の「現場での定義」について議論したい。さらに、コードステータスについて患者と議論するタイミングはいつが適切か?全員にたずねるべきか?どういった話し方をすべきなのか?その根拠は何か?についても少人数グループで議論を行う予定である。最後に、病院全体でコードステータスについての共通理解を目指す当院の取り組みについても紹介する。</p>	